

ほけんだより



厳しい寒さもようやく終わりが近づいてきたようです。朝晩は冷え込み、まだまだコートが手放せませんが、日中は日差しが穏やかになり、木々や花々が一斉に芽吹き始め、春の訪れを感じます。

春は「旅立ち」の季節。門出を祝い、旅立っていく人に送る言葉を一般に「はなむけの言葉」と言います。「はなむけ」が意味しているのは「花向け」ではなく、当初は「馬の『鼻向け』」だったそうです。「馬の鼻向け」という言葉が次第に略されて「はなむけ」という言葉になりました。そして、はなむけの言葉と共に伝えたいのが、感謝の気持ち。3月9日は、3(サン) 9(キュー)=サンキューという語呂合わせにちなんで「ありがとうの日」とされています。旅立っていく人にだけでなく、家族、友達、近所の人など周りへの感謝の気持ちを忘れないようにしていきたいものですね。

1年間子ども達が健康に過ごせるよう、保護者の皆様には色々とご協力を頂きましてありがとうございました。子ども達は、この1年で身体も心も一回り大きくなり、色々な事が出来るようになりました。ご家庭でも1年間の頑張りをたくさん褒めてあげて下さい。来年度も引き続きよろしくお願ひ致します。

感染症情報



感染性胃腸炎 1名



※大きな病気の流行はありませんでしたが、発熱や気管支炎(激しい咳等)だけでなく12月から引き続いて嘔吐・下痢といった感染性胃腸炎に近い症状を訴える子も多く全般的に体調不良による欠席者の多い1月となりました。

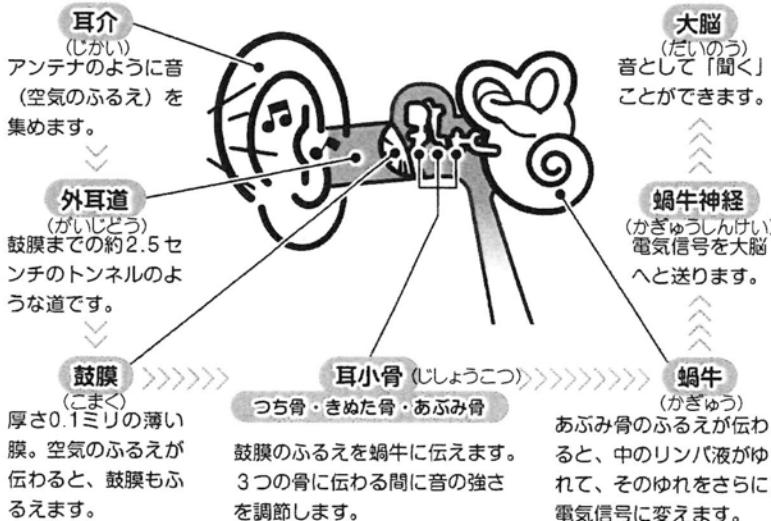
※今シーズンは、例年の10倍の花粉が飛散するとも言われています。子ども達の間でも、目の痒みや鼻水、くしゃみ等花粉症の症状を強く訴える子が増えてきています。疑わしい症状が出ている場合には、小児科や耳鼻科、眼科で相談し、薬を使いながら少しでも快適に過ごせると良いですね。

※新型コロナウイルス感染症の感染者は減少傾向にありますが、インフルエンザ等も流行していますので、園内へのウイルスの持ち込みを出来るだけ防ぐ為、兄弟児を含め、ご家族の中に体調不良の方がいらっしゃる場合には登園を控えていただけますよう、引き続きご協力よろしくお願ひ致します。

~3月3日は『耳の日』です~

数字の「3」の形が耳の形に似ている事等から、昭和31年に日本耳鼻咽喉科学会の提案により「難聴と言語障害をもつ人との悩みを少しでも解決したい」という社会福祉への願いを込めて制定されました。

音を「聞く」までの道筋は?



耳の中に入っちゃ取れない! こんなときは?

動かない物の場合

おもちゃの部品、豆、ボタンなど、子どもは思わずものを耳の穴に入れてしまうことがあります。慌てて無理に取り出そうとすると、かえって耳の中を傷つける危険があります。病院でとってもらいましょう。



生きた虫などの場合

虫は暴れるので、放置すると耳の中を傷つけかねません。しかし、これも無理に取り出そうとするのは危険。懐中電灯で照らしておびき寄せ、出てこなければサラダ油を一滴垂らし、虫を窒息させてから病院へ。



子どもの“聞く力”を育てるには



お子さんには、しっかりと相手の話を耳を傾けて理解できる力をつけてもらいたいものですよね。そんな“聞く力”は大人のサポートで伸ばしてあげることもできます。

● 話す・聞くときは顔を見る ●

話すときは、なるべく手を止めて目を合わせます。身近にいる大人がよいお手本となってあげましょう。

● ● ● 家族で伝言ゲーム ● ● ●

これから言うことを伝えてねなどと、伝言をお願いしてみましょう。ゲーム感覚なら楽しく挑戦してもらえますよ。



● ● ● 待ってあげる ● ● ●

子どもは聞いたことを整理し、理解するまでに時間がかかります。急かさずに返事はゆっくり待ちましょう。

※新型コロナウイルス感染症の対応につきまして、第2類から5類に変更する等、今後法制度の見直しが行われる予定となっています。園内の対応につきましては、その内容が明らかになった後、整合性がとれるよう見直していく方向で考えています。それまでは現在の対応を引き続きお願ひする事になりますが、何かご不明な点がありましたら、ご相談下さい。ご理解・ご協力よろしくお願ひ致します。



日の基保育園